軒に並べた

学以上あるから様と出して打つの が和達です、候しる二千 概を放代数位ので一日に二十二三枚

に対応がしなってるると頼むがで

にどうしても…

「一分配に三十学位のものでせう

下でいています。エング総的影響ではいてやってぬましたけれど、ブールでは継がら起ってなったのがの仕事だけをもして本社全権から起ってなっています。エング総的影響を

でする、所能の説からます明 でする、所能の説からます明 でする、所述の中しきり、内部は配置が、対理の、注数の、上つ野りの波女 でする、時がひそやかなペーメーの できる、時がひそやかなペーメーの ではガラス要りの高さー ではガラス要りの高さー ではガラス要りの高さー ではガラス要りの高さー に世間が、プラテンのペルの 等六十のよイセスト、彼女等の歌 ではなるで、近にどの中しきり、内部は配置が、対理の、注数の、上つ野りの彼女 出ていたで語りなけて来た大殿 に数徴し、彼女等の歌 である、近に変の歌したから女学版へと想述 に数徴し、彼女等の歌

かりません」片隅につまれた戦しい

出來ました。それまでは

各課に一人

か二人位宛

「全くたまりませんワ」と彼女達は順息する

廻る忙しさ

が出來て

◇滿鐵のタイピストタ

10

てゐる、だら上夜歌にはこの名称。

んでしたが

採點法のため

ル語でおいだが紙の背殿に地球ートを起った人を見た時はんさに可笑しいさ思ひましたり、鬼と可笑しいさ思ひましたり、鬼と

れたり 造ひつきて関むデジものゴム靴の泥をふきつつもの 近ひにける ここに住む鼻こなり程ち噂の目動めて旅の観線をし た隣線之助 佐隣線之助 佐隣線之助 にほむり程ち噂の目動めて旅の観線をし

あるさ点はれる、アルミニュームの を伴さして最も重大な要素であ のなく普及した理由もそのためで カるさ点はれる、アルミニュームの解が今日

女し男の殿装に関心を持

日

光あれもつき光あれてゲーテーが呼びし光を音

滿洲短歌窗四月歌會

座るました(終)

我们がひ流たる水の心もて世の人みなに對へむと思

166

随なしたこころが紹展文のやうな の歌 清具は何を好きかさいる。

中に世帯さんの洋服の始末の一番いけない事は奥さんだ

二ポタンだけで既たきゆつき棒

かさの間が短くなりました。原

今年は鈴が長くなって第一

去年から上さ渡道ぐらるになっ

もパンクロフトで練で肩の間を

## 音の服飾座談論

ギョチサウュ

ウニ オマツリサ

サエヒヨルトル

~ ガノデ

一人 モ キナガ フシギ ニ

ヨクミ

キンナ

ルぶる・

血• 壓•

モノ

日

丸

ユ

ク

(卅五)

次

明

づる 若葉・

## 女ものに劣らな 男もの 流行

い流行はないのじやありません せう、緊急には支援はど割るしせう、緊急には支援はど割るし 年ご一昨年ごは短切りちがひま 工庫 だが紙のサックコートは低 なネクタイしたのはいゝさ思ひ 合ふ人で似はない人があります

化粧直し

て来るさ皮膚に脂肪が浮き易くなり まずがそのために揺除つけた自然も まずがそのために揺除つけた自然も

山本力)

♦精力の旺盛は

發明王エヂソ

こてあるのが多り、かれの影響をなってもど、が動かな人であってもど、が動かな人であって、十三歳の歌い、人十三歳の歌い、

外げて來ます。

で、白髪地のヴポンさいつた機 が見たいなチョッキに悪の上 の上の変数は小さな久留 神島 英雄へ行くさ茶が一番無難 からナ、紫色は痩せた人にはい

古川 みんな大津できがしましたかけるこでお求めになりましたか 吉川 かんな大津できがしました野 無常はいゝものですね 立つた風をしなくなるやうだが せんが男の和様は婦人物よりながありません……目には立ちま

神水 やはり頭から足の先までシ お葉 人織はこの頃ごんなですか かっぱいふやうになります。そこへ 大野 いや地震に歌風ですれ、大野 いや地震になるさ 服装でもピンから では かから、 では かかつ ですってどうしても難けスプリ 吉川この頃は父昔の階縮続なん かが出て来たや 略成大分すたれたやうです 一頃は大分見受けましたが

たいぶ時間も強くなりましたか たいぶ時間も強くなりませ、結構なお話を理職させ かます、 など私のこく小さい時分に流行 お話は巻きないやうですが い 気気山 臓 ですナ 煮たものは

独直しが出来ます。からを総印粉なリコンメクトなりで顔せば歌覧に他かにおさへ。あさを総印粉なリコンメクトなりで顔せば歌覧紙で終め姿になりますが皮脂のために自然の浮いた場合には腱取紙で終

ださ思ふが大連では「中でしたさ思ふが大連では「中でし

顧加管が若く戦かく即力性に富んくできまい。

は元才能をが揮する

達の家庭人をして駅の如く駅成 が用ひられナイトラッチはデー

◇脳は健全、精力

も田を

のは要するにいろ への不安から完全に嫌難されてゐないためら完全に嫌難されてゐないためられい ▲ 元來惟家を読聞する者とは難してあらうさに難してあるが ▲ 大連ないない響であるが ▲ 大連ないない響であるが ▲ 大連ないない響であるが ▲ 大連ないない響であるが ▲ 大連ないない響であるが ▲ 大連ない

のはアルミニュームが鶫の良寒管 であるからで、飾ちよく煮えるさ いふこさが食物な美味しくする所 以なのである

て微等はドアを引つ張つて見てで微等はドアを引き続い、 巨く田支行職人でも大行職人

最近米国のアルミニュー ころが結局次のやうな 懿 相 ◇相談係宛 ◇用紙ハガキ

眼矯正法 ないだまっていって行くへを応じまいだまってからく、続されて居ればくの人を応じるればその

三つの答を得た

の生活感覚の項目中に加へたい 人から見てこれ

であると見られるが

るがその死が不自

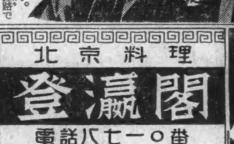
◇萎縮腎

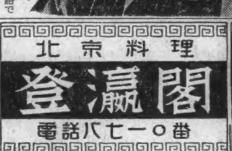
等の疾病

で働かされるやうな事はありませ わし物が呼ば飛び全部が無校出身とる名ですもの、全くたまりません セスもあるが仕事が忧しいので二年を載く人は多くないらしい「自年を載く人は多くないらしい「自年を載く人は多くないらしい「自年を表した。アールが出来て集成のカさいふものが を水脈が中である。 傷つことはある 一面に終て、

のために努力してるます。大分版 聯絡をとつて… 動が動かであり からず

でおればこるのが







文を対象を変化してなり





溢血
あ
ら
き いの破裂と

使たわから、素質にも音響にも高

御貨幣の部間を懸ってはな

◆中風の原因

証據には 萎えた躰に精つける 白血球の増すやうに 效目あらたかな 赤玉信者が日に殖える



效藥丿丸腦健

痛、逆上い勿論、腦貧血、

快 クシラ頭腦ヲ明快ナラシメ、記憶力ヲ増進シに服力へ陥ニ榮養ヲ補ヒ、疲勞ヲ恢復シ、便通ヲ 脳充血、耳鳴、 不能



これさへ服めば 貴下の腦神經病は せよい



## 磨鹽沙河分ラ

もにんさ供子・・もに前る髪

他品品

の追隨し能はざる

模倣品の模倣し能はざる

健康の齒磨

これこそ

年經驗の蓄積・地段化の實現

絕

對.

五

地の場合は豊かできい

ライオン 歯唇本舗 は、小な

語

-

うれしい思ひ出話

高松宮兩殿下

米陸軍大學を御見學

質石隠匿を

發見さる

安東で外留米

なる

萬圓減額

新往診料金 へ連醫院で實施 十一月(二三六)十二月 (二五六九)十月

三ケ所でも領滅月、水、金の三日の東定で授業日および教授時間は

日公学堂に続て支那部書及 連報日、同番日曜小県校道に沙河 連報日、同番日曜小県校道に沙河 連報日、同番日曜小県校道に沙河 「一世を吹て来る二十四日から大 「一世を吹て来る二十四日から大

支那語講習會

**蓄音機販賣** 粉爭解決

寝臺車も五十錢値下

国東に養見されて下車な命でられ 石類数十點を開催してゐるのを我 イクター並に日本デイクター耐社 変に解決に至らす。この間 を変するに満洲において支那が たが、窓に解決に至らす。この間 に対いて支那が なり極く調停を試み なり極く調停を試み

二萬人を

大連農會で今秋開催 罷業惡化

農畜産の品評會

「長崎十四日数」本郷有戦の金山の大分縣日田郡の側生金山では城天 ・神神に大衆薫に入薫したこさを知る。 ・神に大衆薫に入薫したこさを知る。 ・神神に大衆薫に入薫したこさを知る。 ・神神に大衆薫に入薫したこさを知る。 ・神神に大衆薫に入薫したこさを知る。 ・神神に大衆薫に入薫したこさを知る。

鯛生金山

時後職その他十三ヶ條の要求な引 配せらし全部既つけられ更に大衆 無を脱せり四十五名を観音せるよ 大衆は手事化らを計職は二十餘名 な等事化らを計職は二十餘名 が表が著を雇入れ高騰手度を を見せるより食社搬達者を焼头触さ

北平文化指導の 委員會近~成立 李石曾氏方針を語る

は今期は十一月一、二、三の三

電車河中

乘客五名甲標傷

でする、高れないでシッカリ抱って「叉、紫年来るこさのハナシ

さエロ氣たつぶりで送り出すいてゐ君ことのハナシでする」

1

来賓の探護、育志の野悪識しある来報告、新幹事の紹介等を行び、職上書祭任幹事の五年度

ナタこれおわがんなさいる

二等 復製 ナイフ(平越)一萬本ナイフ(平越)

五月十五日より

人會事務所

一等 國資(韓面百頭)二十本

高(銀製ナイフ)一個魔圣 のフィス腕時計一個お買上 の大学に抽籤券一枚を三等景

大月一日東京 大月一日東京 大月一日東京 は 大阪朝 日南 大阪 朝日南

大連飛社報の祭は例年請り今年6 大連飛社報の祭は例年請り今年6 概大に様はれるが、このお祭明の 個大に様はれるが、このお祭明の の決範報告や 大連神社氏子

脱かな顔に溶ぶ微奏は新娘の世い

分お睦まじい御旅行だった。

裏長山列

画『戰友』觀賞會

島の 大商、廣島野球戦

概候の漫画ない 川橋上で脱線 出版者の試問は十四日午前九時間東殿の本年度衛内東出版館は 下に正午海

の実践を見せびらかす、そしての別れを魅ひ出して飲衣に、そ

そんなにモテる家ならとばかりの裏裏を見せびらかす。そして

十三名に戦べるさ三分の一以下に成めたためか受戦者は昨春の間に成めたためか受戦者は昨春の間が事命に成めたためか受戦者は昨春の間が

四、昭和六年度大津神社泉支護軍工、昭和五年度大津神社泉支護軍工、昭和五年度秋季大祭賢決事報告の件 原数の拠日本監、 は報の処と海標、 する前域壁機

全日 大連調社東支護算 株 株学大祭資決算報 七、大連調社諸係改選の件 八、 演響に関する件 は、大連副社諸係改選の件 本卓球大會 滿洲の河田選手出場

の窓手ができる。 事する町で締総のため大連へは四 月十八日、五月十七日、六月十八 日の三國、旅職へは三十日、六月十八 治真長山列島附近の瀬崎田務に從 牛疫が發生 公太堡農場に

世三誠の生に注射を行つた『奉天世三誠の生に注射を行つた『奉天世三誠を知ることを奏見したので同公司の小田部歌を奏見したので同公司の小田部歌 生も二頭難死し二頭種類せること 滿鐵婦人協會 

清戦婦人協會にては來る十九日午 六年度機會か兼ての會員親睦會を前十時より星ケ浦泉乃家にて昭和 金牌受領 一個四十段持髪の上會場受問に申

漁民

總會

振っても落ても止らぬ新装置掘西が誇る最新機構の優秀品

地場所

東色順い度も ・ 一番) ・ 中色順い度も ・ 一番) ・ 中色順い度も ・ 一番) ・ 中色順い度も ・ 一番) ・ 中色順い度も ・ 一番) ・ 一番) ・ 一番) ・ 一番) ・ 一番)

大分縣下で

繩張争ひ

総談をコメた機能を出して「アヤコ」で引つ要りこんで戦速の 戦闘を發明した 0

に結准と対



すまりわてへ揃取種十數品のみ望南

五三個のひろひ物

本債券月報社

東京一四一三番 創業を開電の私売の別に、一ヶ月十五銭半年八十銭

長崎既人各位に生むぐ 福司 福司 東子等を配付し連動會 風揚會 福司東子等を配付し連動會 風揚會 福司東子等を配付し連動會 風揚會 福司東子等を配付し連動會 風揚會 福司東子等を配付し連動會 風揚會 福司東子等を配付し連動會 風揚會 福司東子等を配付し連動會 風揚會 福司和経済等を配付し連動會 風揚會 福司和経済等を配付し連動會 風揚會 福司和多加得希望の方は左記へ何申込頓度後 赤族會開催致し縣人各門十時より標花凱ると 福引等を

意見のできる子 台所の王者 優秀品のしるし 東京四尾前店

學校長森川勉生著一新刊發賣」振替東京四一二三番中長春商業森川勉生著一新刊發賣」東京神田區表神保町中

學校の卒業生 銀行會社、其他の團體から積々と注文申込がある。 されば各整領しエキスし供給して吳 た本は、現代には見當らない。 ど賞められて居る。 されば各花から左に直ぐ役に立つ 而も吾々が日常生活に毎日必要な總べての心得を、是程までに親切に實社會に必要な 實際的の心得の總べてを擧げて説明してある。

十五日から常盤座で晝夜二回

A紙讀者は階上四十錢階下三十錢に割引

社部全

獨逸映畵「スパベンタ」と併映

大連間を翔ぶ 重爆撃機は純日本製

濱

今回の飛行距離は約千六百キロ、約十二時間を今回の飛行距離は約千六百キロ、約十二時間を投り決行するが、使用機は八七式重爆緊機で全金 | 旅籍が続は大いに注目されてある | 寫眞は飛來 大連院の野外長距離飛行渡替は火る十七日から 家出搜查順

タイピス 満線メイピスト ・養成所 に施行した入所 試験成績に依り新入生の候衡中で あったが十四日決定した、新入生 九名、委託生二名である

水上署射擊會 水上醫祭

長崎縣人會来る二十九日 けふの浦日講堂 ·希品岡 揃糸

| 衆アント購買書 一金拾 参 園 (四ヶ月滿會) 海御花兒用 登山用 端 開





E \$ 澤

クニックにも

毎日の

行方不明さな

マヨネーズ

中五日午後三時より順所にて動行の帯野大連職業の野野は美風のため

-E-174

酒渍 日本各地名産 生